

助成事業実施報告書

団体名 社会福祉法人 生活クラブ
代表者・役職名 氏名 理事長 池田徹

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. 助成プロジェクト名

ホーム内設備の環境改善事業

2. 実施団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

前施設長が児童養護施設勤務の頃より、退所児童への支援の必要性を感じ、2004年よりNPO法人として自立援助ホーム人力舎を設立。当初から講演活動を行うなどして資金を募り、支援者からの力添えも頂いている。2013年より社会福祉法人生活クラブが養護施設を開設することを機に社会福祉法人生活クラブに入り、ホーム長を交代し自立援助ホームを継続している。

3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

ホームを利用する子ども達が抱えている問題は多く、安定した食事やきれいな居住環境での生活が行われてきていない子ども達が多い。安心・安全な環境での生活を行うことはとても重要な支援となります。衣食住の安定を目指すために、食事の充実、居住環境を整理することは大切であり、少しでも過ごしやすい環境を整えていくことが必要と考えている。

4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

普段の調理だけではなく入居者の誕生日にケーキを焼くなど、スタッフだけではなく子ども達もお菓子作りや調理に使用している。新しい機器にすることで負担の軽減にも繋がっていきたい。
洗濯物を干すスペースの確保がホーム内では難しく、入居者は居室内に干洗濯物を干している。スペースにも限りがあるため天井からつりさげるタイプの物干しスペースを設置し、居室内の環境改善を行いたい。

5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

電子レンジを購入したことにより毎日子ども達に提供している食事の準備の軽減に繋がり、子ども達もお菓子作りなど趣味での活用に繋がっている。仕事の関係で帰宅が遅い子ども達にも温かい食事の提供を心がけており活用することが出来ている。また、各居室にホスクリーンを設置したことで、洗濯物を干すスペースの確保ができ、洗濯物が以前よりも整理されているように感じられる。居室内の整理も以前よりは行うようになっており、子ども達の意識の変化も感じられる。

6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

居室の改善やしつかりとした食事の提供など、子ども達に対して日々の生活の中での支援を行うことで、子ども達の安定した生活に繋がっていきたいが、子ども達が抱える課題やこれまで過ごしてきた環境などを考えると、20歳を目途とした自立援助ホームでの関わりだけでなく長期的な関わりが必要と感じる。出た後も気軽に立ち寄る事が出来る関係と環境作りを今後も続けていきたい。

7. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動状況の写真などを参考資料として提供してください。

参考資料あり ・ 特になし